

依知中だより

厚木市立依知中学校
発行責任者
学校長 佐藤 彩子
厚木市中依知 364
046-245-1167
学校HP携帯サイト→



生徒数	
1年	120人
2年	118人
3年	124人
全校	362人

充実の2学期「創造・前進」

校長 佐藤 彩子

猛暑が去り、朝夕と涼しい風が心地よく感じられます。令和2年度も9月が終わろうとしています。今学期は、8月19日より始まりすでに1か月がたちました。この間、依然新型コロナウイルス感染の事態に大きな改善はなく、学校では修学旅行の中止や各種行事の変更をする状況が続いています。2学期の最初に子どもたちには、「元の生活にいつ戻るか」を待つのではなく、「大変」の字のごとく、大きく自分たちの心構えや行動を変える時であるとの話をしました。1か月たった校内では、グラウンドには、部活動に励む子どもたちの姿、校舎内からは歌声も聴こえ始めました。感染リスクを下げた活動ができるよう、様々な工夫を凝らし、前に進み始めています。10月17日は、体育大会を実施いたします。ここにも感染防止を講じ、今までにない種目を子どもたちが考えました。今、まさに新しい発想が次から次へと生まれてきています。本校の石碑に書かれた「創造・前進」の字のごとくです。10月の「学校へ行こう週間」では、保護者の方のみとなりますが、学校公開を行います。保護者の方、地域の方にはまだまだ自粛いただくことやご協力いただくことが多々ありますが、お力添えをいただきながら、子どもたちに、困難な時代を乗り越える力、逞しく強くいきる知恵と力をつけさせていきたいと思っています。今年度始業式に、「心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる 運命が変われば人生が変わる」哲学者ウィリアムジェームズの名言を引用して話をしました。今まさに、子どもたち、職員、一丸となって心を動かし、工夫し、チャレンジして前に進む充実の2学期にしていきたいと思っています。



体育大会 昼休みの学年練習の様子

厚木愛甲地区中学校文化連盟芸術祭 部活動展示部門を終えて



中文連担当

9月5日、6日に厚木文化会館の展示室において、厚木愛甲地区中学校文化連盟部活動展示部門発表会が開催されました。本校からは、家庭部が、フェルトで作った共同作品や、個人で作成した布のティッシュケースなどを展示し、写真部は一人一人がパネルに作品を貼ってかかげました。美術部は、「心休まる私の風景」という題材のもとに描いた水彩画やイラストを展示しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、家庭部の実技講習会や、美術部のスケッチ大会などが中止となり、活動時間も短縮されましたが、できる範囲内で丁寧に作品を制作しました。450名以上の来場者が訪れ、素晴らしい感性や、技能にふれることができた充実した発表会となりました。

生徒会本部役員選挙に向けて

生徒会本部担当

8月27日の公示を受け、生徒会の新本部役員の立候補者が出そろいました。今年度は2年生5人、1年生7人が立候補しました。1年生は定員4名に対して、7名の立候補者が集まり、生徒会本部に対する関心の高さがうかがえます。選挙に向けて、選挙管理委員会が2学期の始業式前から動き出し、「不正なく自分の想いが伝わる選挙」を活動目標に、入念な準備を行ってきました。今後は9月18日からの選挙運動を経て、30日に立会演説会と投票が行われます。立会演説会では、立候補者から「どのような依知中を創っていきたいか」についての想いが語られます。全校生徒もその想いを受け止め、自分の考えを持って投票することになります。このような活動の中で、依知中生全員が立候補者たちとともに、自分たちの依知中学校の未来を本気で考えるだけでなく、選挙についても考えることができる機会になるように期待しています。

<10月の予定>

- 5日(月) 中間テスト
- 8日(木) 内科検診(お弁当)
- 17日(土) 体育大会
- 19日(月) 体育大会振替休業
- 26日(月) 後期時間割開始
- 28日(水) 3年学習診断
- 29日(木) 3年保護者進路説明会
- 30日(金) 学習室校外学習



感染症対策について

教頭

依知中学校の新型コロナウイルス感染症対策あれこれ

その1 意味のない「犯人探し」

時間がたつにつれて新型コロナウイルスへの対応が徐々に解明されてきました。いまだに対応の仕方について専門家同士でも意見が分かれるところもありますが大筋では一致してきています。

しかし気になる動向の一つに、科学的見地とは違う意味で「まわりの目」「みんながそうしてるから」のようにおおよそ科学的に考えると無意味なことでも社会全体の流れを付度した行動があること(または要求されること)も事実です。そしてその目が行き過ぎて「感染者を許さない」または「犯人探し」へと続いていくことに危惧しています。

裏面に文部科学大臣からのメッセージを掲載しておりますのでご覧ください。

その2 「笑顔の輪を広げよう」

依知中学校では次のように考えています。

- 生活面では生徒の安全・安心を第一にした対策を実行しています。
 - 消毒、三密の回避、空調をはじめ換気対策、偏見や差別を含め人権、道徳教育
 - アルコール自動噴霧器を各活動場所に設置、自動水道栓(10月下旬に設置)
- 学習面では授業形態を工夫して滞りなく進め、試行錯誤と工夫を続けています。
 - 話し合い活動への工夫(パーティション活用)
 - 音楽活動での飛沫の拡散防止(合唱用マスク、パーティション)
 - 接触や道具の使いまわしを極力避ける授業形態の工夫(補助金の活用)
 - 多様なパーティションの増設で飛沫が予想される活動も安全にできるような対策

その3 「正しい情報や知識の必要性」

偏見や差別をなくすために 無知や間違った知識は争いの元 絶えず勉強し最新の情報を多方面から偏らずに手に入れる努力を続けることは無用の争いや偏見をなくす一つの有力な手段です。少なくとも教師と呼ばれる私たちはその手本にならなくてはいけないと常々思っています。学び続けない教師に明日はありません。謙虚な姿勢を持ちこれからも努力を続けます。いつでもご意見をお聞かせください。



合唱の際に使用するパーティションの作成